

日本教育経営学会 第 65 回大会プログラム

会場 茨城大学 教育学部（水戸キャンパス）
〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1 番地 1 号
期間 2025 年 6 月 6 日（金）～ 8 日（日）

大会 Web サイト：<https://sites.google.com/view/jasea2025ibaraki>



日本教育経営学会 第 65 回大会準備委員会

主催：日本教育経営学会

後援：茨城県教育委員会

ご あ い さ つ

日本教育経営学会第 65 回大会 大会準備委員会
委員長 加藤崇英（茨城大学）

このたび、日本教育経営学会第 65 回大会を、茨城大学水戸キャンパスを会場として、2025 年 6 月 6 日（金）から 8 日（日）にかけて開催させて頂くことになりました。

大会プログラムは、自由研究発表に加え、研究推進委員会による課題研究報告、実践推進委員会による実践研究フォーラム、若手研究者のための研究フォーラム、将来構想ワーキンググループによる教育経営学のこれからを考える「ラウンドテーブル」、また新たに「国際交流委員会ランチタイムワークショップ」を予定しています。

公開シンポジウムのテーマは「DX 時代の人材育成と教育経営の課題—高校・大学校・地域企業による協働とその展望—」といたしております。開催地である茨城県の高등학교、大学校、企業等の取り組みについて、関係の方々にご登壇いただき、ご報告いただくと共に、フロアの皆様からのご意見やご質問等を頂戴しながら、ディスカッションを進めていきたいと存じます。

茨城大学水戸キャンパスまでは、水戸駅周辺のご宿泊をご利用いただくと便利かと存じます。コロナ禍以降、羽田空港や新幹線・鉄道のご利用の方は東京駅や品川駅からの特急のご利用、あるいは茨城空港からのご利用など、各方面からの交通アクセスも以前と比較しますとかなり充実してまいりました。

なお、土日ともに大学生協のご協力で昼食のために食堂の営業を行っていただくことになりましたので、ご利用のほど、よろしくお願いします。昼時のワークショップ及びラウンドテーブルは食堂隣接の会場で予定しております。また、学会期間中、前回大会と同様の託児支援を予定しております。

大会が充実した研究協議の場となりますよう、大会準備委員会一同、準備に努力してまいりたく存じます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会準備委員会

委員長 加藤 崇英（茨城大学）
委員 高野 貴大（茨城大学）
委員 石崎ちひろ（常磐短期大学）
委員 櫻井 良種（茨城県立竹園高等学校）
委員 奥田 修史（盛岡大学）
委員 木下 豪 （富山大学）

第 65 回大会プログラム目次

ご あ い さ つ	1
第 65 回大会プログラム目次	2
大会日程および会場	3
大会参加について（ご案内）	4
託児補助の手続きについて.....	6
自由研究発表要領.....	7
アクセス・キャンパス マップ	8
教育学部 B 棟 会場マップ	9
第 1 日 6 月 6 日（金）	10
若手研究者のための研究フォーラム	10
第 2 日 6 月 7 日（土）	11
自由研究発表 1	11
自由研究発表 2	12
自由研究発表 3	13
自由研究発表 4	14
自由研究発表 5	15
国際交流委員会ランチタイムワークショップ	16
公開シンポジウム	17
総会	18
懇親会	18
第 3 日 6 月 8 日（日）	19
自由研究発表 6	19
自由研究発表 7	20
自由研究発表 8	21
自由研究発表 9	22
自由研究発表 10	23
ラウンドテーブル	24
課題研究	25
実践研究フォーラム	26
広告協賛企業一覧（27～31 頁）	27

大会日程および会場

6月6日(金)

16:30~

大会受付

教育学部 B 棟 2 階

17:00~19:00

若手研究者のための研究フォーラム

教育学部 B 棟 2 階

6月7日(土)

8:15~

大会受付・学会受付

教育学部 B 棟 1 階

9:00~11:30

自由研究発表 1

教育学部 B 棟 2 階 B203 教室

自由研究発表 2

教育学部 B 棟 2 階 B204 教室

自由研究発表 3

教育学部 B 棟 2 階 B205 教室

自由研究発表 4

教育学部 B 棟 2 階 B207 教室

自由研究発表 5

教育学部 B 棟 2 階 B208 教室

11:30~13:15

昼休憩

12:00~12:30

国際交流委員会

茨城大学 生協食堂

ランチタイムワークショップ

イーティング・コモンズ

13:15~16:15

公開シンポジウム

教育学部 D 棟 2 階 D201 教室

16:30~17:30

総会

教育学部 D 棟 2 階 D201 教室

17:45~19:45

懇親会

茨城大学 生協食堂

イーティング・コモンズ

6月8日(日)

8:15~

大会受付・学会受付

教育学部 B 棟 1 階

9:00~11:30

自由研究発表 6

教育学部 B 棟 2 階 B203 教室

自由研究発表 7

教育学部 B 棟 2 階 B204 教室

自由研究発表 8

教育学部 B 棟 2 階 B205 教室

自由研究発表 9

教育学部 B 棟 2 階 B207 教室

自由研究発表 10

教育学部 B 棟 2 階 B208 教室

11:30~13:15

昼休憩

12:00~13:00

ラウンドテーブル

茨城大学 生協食堂

イーティング・コモンズ

13:15~16:15

課題研究

教育学部 B 棟 2 階 B203 教室

13:15~16:15

実践研究フォーラム

教育学部 B 棟 2 階 B205 教室

会員控室

教育学部 B 棟 2 階 B209 教室

学会本部

教育学部 B 棟 1 階 B104 教室

大会本部

教育学部 B 棟 1 階 B104 教室

公開シンポジウム打ち合わせ

教育学部 B 棟 1 階 B102 教室

大会参加について(ご案内)

1. 参加申し込みの手順

(1)大会参加・懇親会申込

大会に参加される方は、下記の参加登録システムより 5月19日(月)までにお申し込みください。参加費(懇親会費を含む)は申込時にお支払いいただく形となります。なお、お支払い方法は原則クレジットカード決済となりますので、ご了承ください。

大会参加費は、事前・当日で異なります。円滑な大会運営のためにも5月19日(月)までの登録にご協力ください。

◆参加登録システム：https://app.payvent.net/embedded_forms/show/67dd11d0f4b724269114dc64

◆QRコードはこちら：

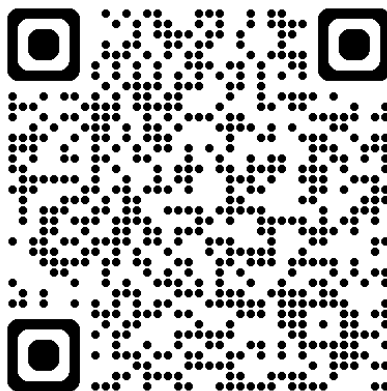


↑[大会事前参加登録システム](https://app.payvent.net/embedded_forms/show/67dd11d0f4b724269114dc64)(5月19日締切)

なお、正会員の方で、総会ご欠席の方は、以下の委任状提出用のフォームにアクセスして事前に「委任状」をご提出ください(総会のオンライン配信はいたしませんのでご了承ください)。

◆総会委任状フォーム：<https://forms.gle/mY8KWez1GvaNRwHv6>

◆QRコードはこちら：



↑[総会委任状フォーム](https://forms.gle/mY8KWez1GvaNRwHv6)

(2)参加費・懇親会費について

大会の参加費、懇親会費は以下の通りです。

大会参加費	一般（正会員／臨時会員）【事前申し込み】	4,000 円
	一般（正会員／臨時会員）【当日】	5,000 円
	学生会員（正会員／臨時会員）【事前申し込み】	1,000 円
	学生会員（正会員／臨時会員）【当日】	2,000 円
懇親会費	一般（正会員／臨時会員）	4,000 円
	学生会員（正会員／臨時会員）	2,000 円

※学生会員とは常勤の職を有さない学生（院生、科目等履修生、聴講生、学部生）の会員を指します。常勤の職を有する社会人院生の会員の大会参加費は「一般（正会員／臨時会員）」となります。

(3)宿泊について

各自でのご予約をお願いいたします。水戸駅（北口、南口）、大工町周辺をお勧め致します。

2. 受付

- ・6月6日（金）：教育学部B棟2階会場教室前にて、大会受付を行います。
- ・6月7日（土）、8日（日）：教育学部B棟1階にて、大会受付を行います。

※7日（土）・8日（日）は大会受付付近に学会事務局の窓口も設けますが、紀要の配布、学会費の現金での納入受付は行いません。会員管理システム・シクミネット「マイページ」から事前に納入をしてのご参加をお願いいたします。

3. 懇親会

日時：6月7日（土）17：45～19：45

会場：茨城大学 生協食堂 イーティング・コモンズ

4. 昼食の生協食堂ご利用のお願い

6月7日（土）、8日（日）の昼食は生協食堂をご利用いただけます。

本大会開催のために、営業をお願いしておりますので、できる限りのご利用をお願いいたします。

5. その他

・発表要旨集録は、紙媒体では配布せず、大会 Web サイトからダウンロードしていただきます。発表要旨集録の公開は5月30日（金）を予定しています。なお、発表要旨集録の閲覧にはパスワードが必要となります。参加登録をされた方に後日閲覧用パスワードをお送りいたします。

・発表資料は、6月5日（木）から大会終了後3日間まで、大会 Web サイトに設置するオンライン上のフォルダより会員のみ閲覧できるようにいたしますので、必要に応じ各自ダウンロード、印刷をお願いします。なお、大会当日資料を配布する発表もあります。発表資料は教室後方の机の上に置くようにいたしますので、各自お受け取りをお願いします。

◆第65回大会 Web サイト：<https://sites.google.com/view/jasea2025ibaraki>

託児補助の手続きについて

大会準備委員会では、前回大会の実績を踏まえ、託児補助制度の検討を進めてまいりました。会員の皆様におかれましては、「託児補助制度に関するアンケート」にご協力を賜り、まことにありがとうございました。検討の結果、第 65 回大会では前回大会同様の託児補助制度を運用することとなりました。

1. 託児補助制度の概要

- ・制度概要：研究大会参加期間中に託児サービスを利用した会員に対する費用の一部補助
- ・補助の対象：日本教育経営学会会員を保護者とする 0 歳（3 か月以上）から小学生までの子に対する費用の一部補助
- ・補助内容：補助金額は大会出席 1 日あたり 5,000 円（子ども 1 人あたり）を上限とし、補助日数は会期中の 3 日間までとする。
- ・申し込み：申請者は、「託児補助金申請書」（様式）をダウンロードし、必要事項を記入して、大会事務局宛てにメールで送る。申込期間は大会参加申込の期間に準ずる。証明書類として、利用施設、利用サービス、利用日、利用料金、利用した子の人数が明記されている領収書の写し等を添付する。証明書類の提出は大会終了後 1 週間以内とする。
- ・大会参加の確認：申請者は託児サービスの利用日ごとに大会参加受付を行うこととし、大会参加受付の記録をもって、本人の大会参加を確認したものとし、補助金額の支払いをする。
- ・留意点：託児サービスへの依頼、契約は各会員が行う。託児所利用のほか、自宅等でのシッター利用も補助の対象とする。

2. 託児補助の申請方法

（1）申請書の提出

申請者は大会 Web サイトより「託児補助金申請書」（様式）をダウンロードし、必要事項を記入の上、6 月 2 日（月）までに大会準備委員会事務局（jasea2025@gmail.com）にメールにて送付してください。

◆第 65 回大会 Web サイト：<https://sites.google.com/view/jasea2025ibaraki>

（2）大会受付

申請者は託児サービスの利用日ごとに大会受付を行う必要があります。大会参加の際、受付にお立ち寄りいただき、本人確認書類（運転免許証、職員証、学生証など）の提示をお願いします。受付の記録がない場合の補助金の支払いはできかねますのでご注意ください。

（3）証明書類の提出

申請者は託児サービス利用の証明書類として利用施設、利用サービス、利用日、利用料金、利用した子の人数が明記されている領収書の写し等を、6 月 16 日（月）までに大会準備委員会事務局にメールにて送付してください。

申請書の内容、証明書類及び大会受付記録の確認後、所定の金額をお支払いします。お支払い後に大会準備委員会事務局よりメールをお送りしますので入金の確認をお願いします。

自由研究発表要領

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、以下の通りです。

- (1) 発表者が1名の場合：発表時間 20 分＋質疑 5 分（計 25 分）
- (2) 発表者が複数の場合：発表時間 40 分＋質疑 10 分（計 50 分）
- (3) 共同討議の時間は 20 分です。

※ 共同研究の場合にはプログラムのお名前に○印を付した方が口頭発表者になります。

2. 発表機材

プロジェクターをご利用の場合は、コンピュータをご持参ください。会場には、プロジェクター、スクリーンを用意しております。必要に応じて HDMI に接続可能な変換アダプタなどをご持参ください。自由研究発表の開始までに、発表者の責任において接続の確認をしてください（開始 20 分前頃より接続のテストができるようにします）。

3. 発表資料

発表資料は、PDF ファイルにした上で、大会 Web サイトに設置するオンライン上のフォルダにアップロードしていただきます。原則として 6 月 4 日（水）17 時を締切とします。発表資料は 6 月 5 日から大会終了後 3 日間のみ会員に公開します。

当日、発表資料を配布予定の方は、不足が生じないよう必要部数（各自 50～70 部を目安）をご持参の上、該当会場の係員にお渡しください。資料配布机におく形で配布させていただきます。

※資料の複写等のご要望には、大会準備委員会としてお応えできません。

※発表資料等の事前送付はご遠慮ください。紛失等の事故が生じることがあります。

4. 発表の取りやめについて

万一、お申し込みいただいた発表を取り止める場合は、必ず事前に大会実行委員会の下記連絡先までご連絡ください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。

連絡先：jasea2025@gmail.com

5. その他

自由研究発表者は、自由研究発表開始 10 分前（8 時 50 分まで）に司会者に発表会場に到着した旨を対面でお伝えください。

アクセス・キャンパス マップ

○水戸駅から茨城大学まで



JR 水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。

時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

詳しくは下記「茨城大学専用のバス案内ページ」をご覧ください。

[茨城大学専用のバス案内ページ](#)



「茨大前」で下車後、123号線の信号を横切り、突き当たりまで直進してください。

バス停から会場教室まで徒歩で10分程度要しますのでご注意ください。

教育学部棟は、図書館右手の建物群です。大会受付(土曜日・日曜日)は、B棟にて行います。



教育学部B棟

大会受付(1階)

若手研究者のための研究フォーラム(2階)

自由研究発表(2階)

課題研究(2階 B205 B203)

実践研究フォーラム(2階 B203 B205)

会員控室(2階 B209)

教育学部D棟

公開シンポジウム、総会

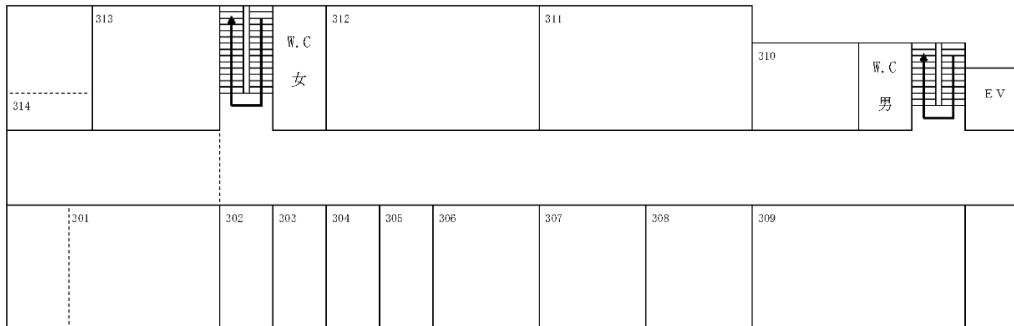
※ B棟2階から連絡通路もございます。

茨城大学生協食堂(1階)・イーティング・commons:

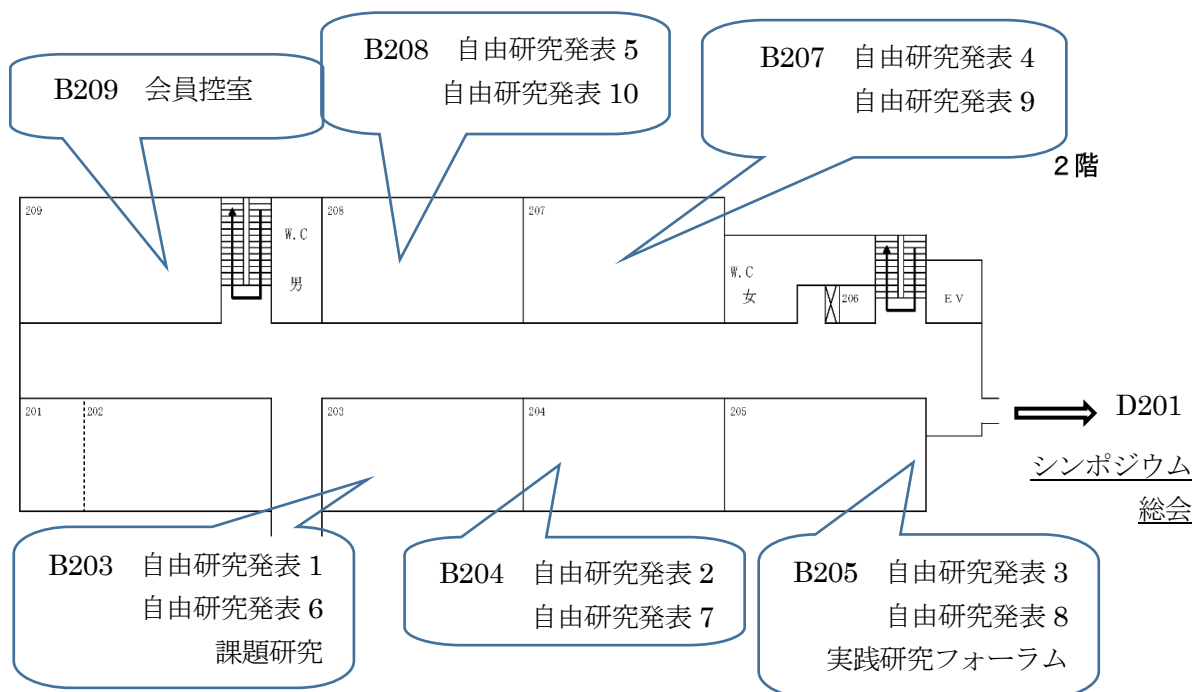
- ・昼食／懇親会
- ・国際交流委員会 ワークショップ
- ・ラウンドテーブル

教育学部 B 棟 会場マップ

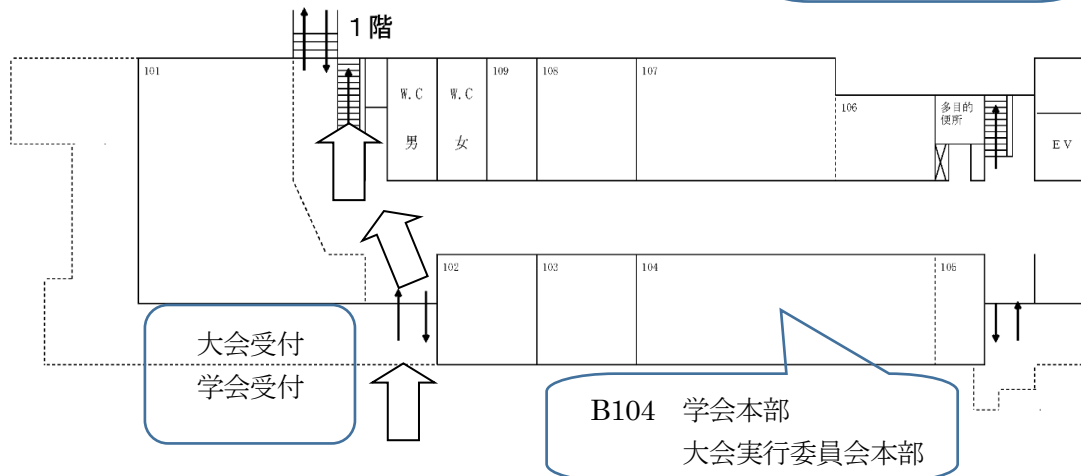
3 階



2 階



1 階



第1日 6月6日（金）

6月6日（金）17:00～19:00

会場：教育学部B棟2階

若手研究者のための研究フォーラム

若手研究者が考える教育経営学の魅力・外縁・多様性

【趣旨説明】

前期（2022-2024 年）若手研究者のための研究フォーラムは、若手研究者自身の研究における問題意識や着眼点を出発点として、教育経営学研究の現在地と展望について探究を進めてきた。具体的には、研究対象の幅広さやその広がりを取り扱うだけでなく、研究方法やアプローチの多様性・独自性にも関心を寄せることで議論を積み重ねてきた。

その議論の過程において、教育経営学が有する射程の広範さこそ学問的な魅力であるとの意見も確認できた一方で、教育経営学と学校経営学、あるいは教育経営学と繋がりうる諸領域（例えば教育行政学、教育方法学、社会教育学ほか）、はたまた（教育経営）研究と実践との関係性なども論点あるいは若手研究者自身の葛藤として浮かび上がってきた。その背後には「学校」の外縁の拡張とそれに伴う教育経営学の射程の広がり、研究者自身のバックグラウンドの多様化という今日的状況が関連していることが度々言及されてきた。

そこで今期（2025-2027 年）若手研究者のための研究フォーラムでは、若手研究者による研究対象や方法論、研究者としてのポジショナリティを手掛かりに教育経営学の魅力・外縁・多様性を軸に議論を深めていきたい。今年度の登壇者は、学校現場での勤務経験をもちながら、学校組織のリアリティに迫る研究をされてきた兼安章子会員、鈴木雅博会員の2名に加えて指定討論者として朝倉雅史会員にお願いした。登壇者の2名にはこれまでの研究や経験（現職経験）の振り返りを基本軸に話題提供をしていただく。そのうえで、指定討論のコメントも足掛かりとしながら現職経験が研究に与えた影響や葛藤、学校組織のリアリティに迫るための方法論的選択とその難しさや可能性など、様々な角度から参加者とともに議論を深めていきたい。

【話題提供】

鈴木 雅博（明治大学）：学校組織における教師の実践を記述する

兼安 章子（福岡教育大学）：教師の関係をネットワークとして描く

—キャリアと研究を振り返って—

【指定討論】朝倉 雅史（筑波大学）

【趣旨説明】原北 祥悟（崇城大学）

【司会】武井 哲郎（立命館大学）、鄭 修娟（九州産業大学）

※今期（第6期）ではワーキンググループ（以下、WG）を設置し、下記のメンバーで具体的な企画・運営を進めている。

WGメンバー：鄭修娟（九州産業大学）、高野貴大（茨城大学）、武井哲郎（立命館大学）、西野倫世（滋賀大学*世話人）、原北祥悟（崇城大学*世話人）、藤村祐子（滋賀大学）、古田雄一（筑波大学*若手ネットワーク担当理事）

第2日 6月7日(土)

6月7日(土) 9:00~11:30

会場:教育学部B棟2階 B203 教室

自由研究発表1

司会 湯藤定宗(玉川大学) 澤野幸司(兵庫教育大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	ウェールズにおける校長の力量形成と校長支援の仕組み ーNational Academy for Educational Leadership の取組を事例としてー 植田みどり(国立教育政策研究所)
9:30~9:55	アメリカにおけるアカデミー(Academy)を通じた校長の継続的力量形成 照屋翔大(沖縄国際大学)
9:55~10:20	児童と教師がともに安心できる学校組織の持続をめざした実践研究 ーチーム学校で多様な事例を乗り越えてきた1年間のプロセスー 山口博功(大阪市立平林小学校長)
10:20~11:10	校長のリーダーシップを支える社会ネットワークに関する調査研究(3) ーグループインタビュー調査の分析を通してー ○諏訪英広(川崎医療福祉大学) ○高谷哲也(鹿児島大学) ○吉田尚史(山形大学) ○木下豪(富山大学) ○川上泰彦(兵庫教育大学) 朝倉雅史(筑波大学) 安藤知子(上越教育大学) 織田泰幸(三重大学) 加藤崇英(茨城大学) 高野貴大(茨城大学) 浜田博文(筑波大学)
11:10~11:30	共同討議

6月7日(土) 9:00～11:30

会場:教育学部B棟2階 B204 教室

自由研究発表 2

司会 西野倫世 (滋賀大学) 高橋 望 (学習院女子大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	学校経営概念の生成に関する思想史的研究 ー森岡常蔵と細谷俊夫の学校経営概念形成における「学校経営」への思い・ 意思・思想を視野にー 小島弘道 (筑波大学・名誉教授)
9:30～10:20	学校経営における「観る働」と「描く働」 ～教育の「まとまりとは」を追求した亀田正秋の学校経営を題材にして～ ○曾余田浩史 (広島大学) ○曾余田順子
10:20～11:10	平成における TT 実践の変容と背景・要因 ー秋田市立築山小学校の事例分析ー ○濱田 眞 (秋田大学・非常勤講師) ○屋敷和佳 (東京都市大学)
11:10～11:30	共同討議

6月7日(土) 9:00～11:30

会場:教育学部 B 棟2階 B205 教室

自由研究発表 3

司会 留目宏美（上越教育大学） 阿内春生（早稲田大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	組織的な児童指導体制を支える教職員の関係構築のための要素 ー「連携」と「ケアリング」に着目してー 米谷圭乃子（佐野市教育委員会 教育センター）
9:30～9:55	学校の効果の再定義 ー子どもウェルビーイングとしての公正ー 本図愛実（宮城教育大学）
9:55～10:20	教員のキャリアイベントとウェルビーイング : 5年間パネルデータを用いた採用・異動・昇進・再任用の効果検証 ○露口健司（愛媛大学） 生田淳一（福岡教育大学） 川上泰彦（兵庫教育大学）
10:20～11:10	小・中・高・特別支援学校の校長（経験者）による校長のウェルビーイングに関する一考察 ○田中満公子（守口市教育委員会・教育委員） ○益子典子（日本メディア株式会社） ○香村紀子（四條畷市立四條畷小学校・校長） ○所浩子（堺市立黒山小学校・校長） ○吉田純子（大阪体育大学）
11:10～11:30	共同討議

6月7日(土) 9:00～11:30

会場:教育学部 B 棟2階 B207 教室

自由研究発表 4

司会 篠原岳司（北海道大学） 川口有美子（公立鳥取環境大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	高等学校は校則見直しにどのように取り組んでいるか？ ー関東7県調査よりー 末富 芳（日本大学）
9:30～9:55	理念に基づいた学校経営の実際 ～公立高等学校長の1年間～ 櫻井良種（茨城県立竹園高等学校・校長）
9:55～10:20	普通科改革支援事業による学校経営は学校をどのように変えるのか 滋野哲秀（龍谷大学）
10:20～11:10	「縮小期」後期における高校教育改革の政策課題を問い直す ー都道府県・政令指定都市教育委員会調査データの分析結果を中心にー ○菊地栄治（早稲田大学） ○丸川拓己（早稲田大学）
11:10～11:30	共同討議

6月7日(土) 9:00～11:30

会場:教育学部 B 棟2階 B208 教室

自由研究発表 5

司会 仲田康一（法政大学） 首藤隆介（名古屋造形大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	自治体独自カリキュラムの変容 押田貴久（兵庫教育大学）
9:30～9:55	過疎自治体における「新しい公共」による地域教育コーディネート ー岡山県西栗倉村を事例としてー 加藤裕明（札幌大谷大学） 小山田健（北海道文教大学）
9:55～10:20	基礎自治体における地域教育施策実施過程の分析 ー中学校区単位の「地域教育協議会」に関する取り組みを中心にー 小林昇光（奈良教育大学）
10:20～11:10	高知市型コミュニティスクールの実現に向けた実践と課題 ～社会教育人材のネットワーク化を基盤として～ ○野村ゆかり（一般社団法人 もうひとつの大きな家族） ○押田貴久（兵庫教育大学）
11:10～11:30	共同討議

6月7日(土)12:00~12:30

会場:茨城大学 生協食堂(1階)

イーティング・commons

国際交流委員会ランチタイムワークショップ

国際的な学会での研究発表にむけて

【企画趣旨】

今期国際交流委員会(2024-26年度)では、前期に引き続きグローバル化対応と若手支援に取り組んでいます。その一環として、おおよそ隔月にセミナーを開催し、意見交換・情報交換を行ってきました。これまでの開催内容(タイトル・講師)は以下のとおりです。

第1回 国際ジャーナル投稿先リストの活用(前期国際交流委員会・青木 栄一、廣谷 貴明)

第2回「BELMASとはどんな学会？」(植田 みどり)

第3回「国外での学会参加とその費用対効果の確保: WERA/BERA を事例に」(百合田真樹人)

第4回「スウェーデンにおける教育経営と学校開発論」(林 寛平)

第5回「韓国における外国人生徒への教育支援の実態～多機関連携・多職種連携の観点から～」
(金 美連)

第6回「トルコにおける防災教育の展開と大震災後の教育復興—研修や人事を中心に」
(小田 隆史)

これらのセミナーの中で話題になりました論点を簡潔に振り返りつつ、学会員の研究成果のさらなる国際発信を視野に、国際的な学会での研究発表に益すると思われる、google scholar, research gate, mendeley などの ICT ツール活用について、ワークショップを開催いたします。

昼食をとっていただきながらの会とし、情報交換なども行いたいと考えます。また、国際ジャーナル投稿先リストを活用された方や国際的なフィールドで研究成果の発信をされた方、当会にご参加いただき、ぜひ情報をご提供ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

ワークショップ講師 百合田 真樹人(独立行政法人教職員支援機構)

司 会 小野 まどか(植草学園大学)
本図 愛実(宮城教育大学)

6月7日(土)13:15～16:15

会場:教育学部D棟2階 D201 教室

公開シンポジウム

DX時代の人材育成と教育経営の課題

ー高校・大学校・地域企業による協働とその展望ー

今日、グローバル競争と急速なデジタル化の進行を背景に産業構造は大きな変革期を迎えています。特に、AI・IoT・クラウドといった先端技術の浸透によって、あらゆる業種・地域においてDX（デジタルトランスフォーメーション）対応が中核的な課題となっており、それを支えるIT人材の育成は急務となっています。これに応える教育の役割もまた大きく、今、学校教育においても産業ニーズに即応する実践的教育・マネジメント体制への転換が求められています。

こうした情勢を踏まえ、本シンポジウムでは、教育機関と地域企業・産業等がいかに連携し、実効的な人材育成戦略を構築していくことができるかについて、茨城県における具体的な事例をご報告いただきながら、考察していきたいと考えます。

茨城県中小企業診断士協会・代表理事（会長）・宮田貞夫氏より、地域の中小企業が直面するDX課題、組織変革への支援のあり方、そして中小企業診断士としての経営伴走支援の実践をご紹介します。企業現場の視点から、教育との接続における課題や、人材マネジメントと経営戦略の整合性についてもお話しいたします。

茨城県立産業技術短期大学校（教職員・調整中）よりご報告いただきます。同校は2026年、茨城県立産業技術大学校（情報テクノロジー大学校（仮称））として装い新たに開校の予定です。新たな大学校構想について、AI・データサイエンス・サイバーセキュリティなどの高度専門教育と、企業・地域との連携体制構築を中心にご提案いただきます。教育の組織、カリキュラム運営等の課題についてもお話しいたします。

茨城県立IT未来高校・前校長・津賀宗充氏（現・茨城県立石岡第二高等学校・校長）から、情報系の高校としての教育課程構築や生徒のキャリア支援など、学校マネジメントの在り方についてご報告いただきます。高校における「DX人材育成の初期段階」に焦点を当て、学校経営と地域連携の両立についてもお話しいたします。

各登壇者による基調提案の後、休憩を挟み、会場の参加者の皆様方からのご質問やご意見をいただきながらパネルディスカッションを行いたいと存じます。この中で、教育経営・組織開発・人材戦略といったマネジメント課題について多角的な議論を展開し、相互の実践を照らし合わせながら、今後の方向性を探ることができればと考えます。

本シンポジウムが、教育政策、学校経営、地域連携、キャリア教育、そして企業の人材開発に携わる多くの関係者にとって、教育マネジメントの未来像を構想する貴重な機会となりますよう、ご関心をお持ちの皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

シンポジスト

- ・茨城県中小企業診断士協会・代表理事（会長） 宮田貞夫氏
- ・茨城県立産業技術短期大学校（IT短大） 教職員（調整中）
- ・元茨城県立IT未来高等学校・校長、現茨城県立石岡第二高等学校・校長 津賀宗充氏

司 会：調整中

（企画責任：加藤）

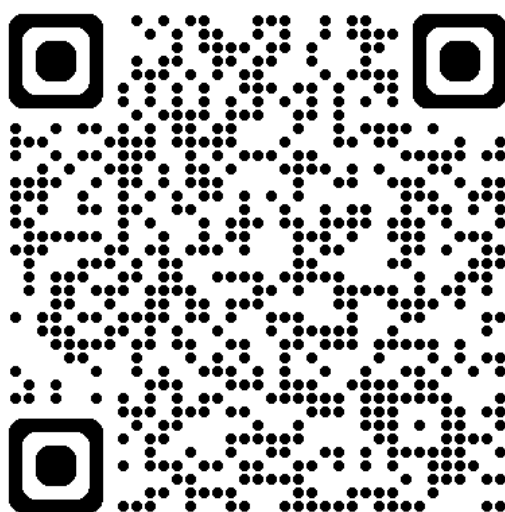
6月7日(土)16:30~17:30

会場:教育学部D棟2階 D201 教室

総会

総会を欠席する会員は、委任状提出用の URL (<https://forms.gle/mY8KWez1GvaNRwHv6>) にアクセスして事前に「委任状」をご提出ください。

◆委任状提出用フォームには、以下の QR コードからもアクセスいただけます。



↑ 総会委任状提出フォーム

6月7日(土)17:45~19:45

会場:茨城大学生協食堂(1階)

イーティング・コモンズ

懇親会

第3日 6月8日(日)

6月8日(日) 9:00~11:30

会場:教育学部B棟2階 B203 教室

自由研究発表 6

司会 押田貴久(兵庫教育大学) 吉田尚史(山形大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	公立小中学校における自治体と保護者の費用負担をめぐる価値対立の考察 ー豊中市保護者負担費一部無償化事業を例にー 花井麻理(兵庫教育大学大学院・院生)
9:30~9:55	教育行政に係る法務相談体制とスクールロイヤーのあり方に関する考察 ー助言・アドバイザー業務と代理人業務をめぐってー 高橋寛人(石巻専修大学)
9:55~10:20	学校運営協議会における熟議プロセスの検討 新谷龍太郎(同志社女子大学)
10:20~11:10	地域の伝統文化・行事の継承に寄与するコミュニティ・スクールの可能性 (2)ーB市の事例調査の分析を通してー ○諏訪英広(川崎医療福祉大学) ○林孝(広島大学・名誉教授) 福本昌之(元広島市立大学) 湯藤定宗(玉川大学) 眞弓(田中) 真秀(大阪教育大学) 大天真由美(高梁市立福地小学校)
11:10~11:30	共同討議

6月8日(日) 9:00～11:30

会場:教育学部B棟2階 B204 教室

自由研究発表 7

司会 畑中大路（長崎大学） 神林寿幸（明星大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	教師のキャリア発達を促すスタッフ・マネジメント 小杉進二（山口大学）
9:30～9:55	教職員の働きがいをもつ支援のあり方 ーワーク・エンゲイジメントと仕事の資源に着目してー 川又翔（宇都宮大学大学院・院生）
9:55～10:20	教育 DX による校務の Re-design ～業務の質的向上と働き方改革の両立～ 杉山一郎（新潟県田上町立田上小学校・教頭）
10:20～11:10	主幹教諭による学校経営への関与深化の可能性 ー現場の実践・役割認識・働きがいから探るー ○陸奥田維彦（大阪教育大学） ○西岡毅（大阪市立西天満小学校）
11:10～11:30	共同討議

6月8日(日) 9:00～11:30

会場:教育学部B棟2階 B205 教室

自由研究発表 8

司会 照屋翔大（沖縄国際大学） 辻野けんま（大阪公立大学）

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	米国教員評価政策における評価項目の細分化と教員の声の考察 ーD.C.教員評価政策に注目してー 松本伊織（神戸大学大学院・院生）
9:30～9:55	米国特別支援教育の教員養成課程にみる模擬 IEP 会議の制度設計と運用 意義 松田華織（神戸大学大学院・院生）
9:55～10:20	ドイツの教育政策と教育予算 坂野慎二（玉川大学）
10:20～10:45	政策「廃止」のインパクトから紐解く韓国革新学校政策の意義 ー京畿道における元革新学校指定校の現状分析からー 吉川麻紘（筑波大学大学院・院生）
10:45～11:10	韓国の私立中等教育機関の発展と学校経営 張信愛（共愛学園前橋国際大学）
11:10～11:30	共同討議

6月8日(日) 9:00～11:05

会場:教育学部B棟2階 B207 教室

自由研究発表 9

司会 小野まどか (植草学園大学) 濱口輝士 (名古屋文理大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	保育人材仲介企業の仲介報酬の相場はいくらか 古谷淳 (高田短期大学)
9:30～9:55	公立学校における国際バカロレア導入と校長の課題対応 ーインタビューによる事例分析からー 佐々木恵美子 (聖隷クリストファー小学校)
9:55～10:20	探究心を育む総合的な探究の時間における取組 ーバカロレア教育、SGH での取組よりー 柴田美穂子 (横浜薬科大学)
10:20～10:45	高等学校におけるインクルーシブ教育の実践と課題 竹本弥生 (横浜薬科大学)
10:45～11:05	共同討議

6月8日(日) 9:00～11:30

会場:教育学部B棟2階 B208 教室

自由研究発表 10

司会 山本 遼 (大分大学) 栗原幸正 (高崎健康福祉大学)

9:00～9:05	司会挨拶
9:05～9:30	教師の職能発達と心理システムに関する質的研究 河村健太 (京都市総合教育センター)
9:30～9:55	若手教師の職能発達を促進する環境構築に関する研究 ー教師の主体性発揮過程の分析を通してー 曾根杏樹 (筑波大学大学院・院生)
9:55～10:20	学びの多様化学校勤務経験者による知識移転 ー人事異動に伴う転出先への影響に着目してー 本山敬祐 (岩手大学)
10:20～11:10	学校組織における協働化と統制化がめざす生徒の姿の実現に与える影響 ー2つの実践研究の結果を通してー ○大林正史 (鳴門教育大学) ○大角 謙二 (加古川東高等学校)
11:10～11:30	共同討議

6月8日(日)12:00～13:00 会場:茨城大学生協食堂(1階) イーティング・コモンズ

ラウンドテーブル

教育経営学の論争点を探る

【企画趣旨】

1958年の本学会創設を振り返ると、1956年の地教行法制定を受けて、法規中心主義への懸念や対抗軸の模索がその出発にあり、教育学に新たな研究領域としての「教育経営学」を切り拓く必要性が強く意識されていた。そして、例えば次のような論争を通して「教育経営(学)」は形成・創出されてきた。「経営主体の所在をめぐる教育行政と学校の関係はどうあるべきか」「校務に教育は含まれるか」「学校経営組織は単層か重層か」「教育課程の編成主体とは」「学校経営の近代化論か現代化論か」「教育経営における民主化・合理化・科学化をどう考えるか」「教師の教育観と学校経営との関係はどうあるべきか」などである。

しかし、近年、教育経営をめぐる議論の枠組み自体が、見えにくくなってきているのも事実である。例えば、1990年代後半以降の学校の自主性・自律性をめぐる制度環境の変化から四半世紀を経て、教育経営や学校経営が「政策や行政、制度で示された事項を遂行すること」と同じように捉えられる傾向にあったり、教職大学院等の制度環境の変化を受けて、素朴な科学観や合理的な組織観に基づく経営手法が正解として重宝されたりするような傾向があることも否めない。

以上には、例えば、「学校は自らの言葉や論理を持って自らの意思を持つ」と捉えるのか、もしくは「学校にはそのような力はないので行政が学校の目標や方法を定めるべき」と捉えるのかといった、学校観や組織観をめぐる何らかの前提があるものの、その論争性を含め、議論が希薄化しているようにも思われる。また、「学校を改善するとは」「子どもをどう捉えるか」「教員集団とは何か」「よい学校とは何か」「理論と実践の往還をどう捉えるべきか」などについて、多様に議論する素地が現代には生まれてきてはいるものの、議論が容易には交わらず、自己の研究や実践の立ち位置を確認できない状況が、教育経営学をめぐって生じ、時代状況や世代の認識の違いが関係してさらに困難な状況が生み出されてもいる。

このような問題状況を乗り越え、自らの立ち位置を自覚化するためには、互いの対立やずれを避け、見えなくするのではなく、それらを捉える、つまり、論争点を明確にすることで、それぞれの考え方を描いていくことが重要になってくる。そこから概念の論じ方を深め、教育経営学の学問的豊かさを確認していくことが求められているのではないだろうか。

今期ラウンドテーブルでは、教育経営学の論争点を明確にすることを目的とし、一年目にあたる今大会では、論争そのものについて各論の議論に特化することなく、論争の重要性をはじめ、各視点や時代区分など論争の考え方について、当日の議論を通じて問題意識の共有を図りたい。教育経営学が多様化するなかで、どのような立場の人も受け入れながら、いかに知を深めていくかということを意識し、教育経営学の論争史を読み解くことで、教育経営学の社会的使命をはじめ今後の方向性を考えていきたい。

将来構想ワーキンググループ

末松裕基(東京学芸大学)

古田雄一(筑波大学)

曾余田浩史(広島大学)

6月8日(日)13:15～16:15

会場:教育学部B棟2階 B203教室

課題研究

社会の分断を防ぐ教育経営～新たな公教育の構築に向けて～

【課題設定の趣旨】

今期研究推進委員会は、「社会の分断を防ぐ教育経営」と題して、多様な子どもの学びと参加の機会を保障する公教育経営に関する理論と実践を検討する。民主的な社会にとっての大きな問題は、社会に分断が生じていることにありと考えられる。齋藤(2000)は、民主的な法治国家は、公共性において形成される人々の意思を正当性の源泉とする国家であり、その公共性における排除の問題として最も困難な問題は「分断」の問題であると指摘する。そして、公共性を排除のない民主的空間とするのであれば、無用とされる人びと、用済みとされる人びとをつくりだすことを当然と考える惰性態としての思考習慣を根底から問い直す必要があると提言する。

これを踏まえるならば、民主的な社会の理念は、すべての人々の存在としての相互の立ち現れにあり、その具現化においてはそれを可能にする思考の仕方が求められていると考えられる。学校を軸とする公教育が民主的な社会を基礎的領野として構想されているのであれば、そこでなされる教育の意義はこの点から考えられるべきであろう。そこでは、学校が民主的空間として形成され、そこでの経験としての学びの積み重ねとして子どもたちが民主的社会を形成する主体となることが望まれる。その際に求められる社会の分断を防ぐ思考の仕方とは、排除の問題に目を向け、多様な人々の存在を相互に承認するとともに、すべての人々が声を表し、社会に参加できるようにするための具体的仕組みや社会の有り様を見出すためになされるものと解釈することができる。

このような民主的な社会と連なる学校の探索は行われてきたものの、現代に至ってもなお、社会の分断や格差の拡大が喫緊の課題として提示される社会情勢に鑑みるならば、そこにはその是正や抑制を実装する場合の難しさが推察される。こうした問題意識を踏まえ、今年度の課題研究では、学校での学びや公教育経営の内実に迫る前段階として、社会の分断の是正や抑制の遂行がなぜ難しいのかを問うところから始める。その際、教育経営学を視角としつつ、アメリカ、ニュージーランドの動向、および価値葛藤に関する哲学的・思想的考察から報告を行う。

【司会・指定討論】山下晃一(神戸大学)

【趣旨説明】柏木智子(立命館大学)

【報告者】高野貴大(茨城大学)、高橋望(学習院女子大学)、桐村豪文(大阪教育大学)

実践研究フォーラム

教育経営の『道具』を問う

1. テーマ設定の趣旨

今期実践推進委員会では、教育経営学の「道具」を問うことを通して、学校や教育委員会の実践に対して、より具体的な関与・貢献の方途を探りたいと考えている。

教育経営に関する理念や理論が何らかのかたちで「実践」に結びつくとき、それらは須らく、何らかのかたちで道具を媒介として実現するものとみなすことができる。また実践と理論との往還的發展を想定するとき、実践から理論への影響を左右するのもまた道具を介してである。加えて、道具とは第一義的には意図を実現するための手段の次元に位置づくものであるが、使用を介して主体が現象をとらえるまなざしや意図、認識枠組みをも変化させることもある。

今期実践推進委員会においては、教育経営に関して考案・開発された道具の一部を「教育経営ツール」と呼び、これについてアクションリサーチを手段として問う。「教育経営ツール」のa) 開発・b) 表現・c) 活用・d) 再定義というサイクルを実際に稼働させることを通して、学会と学校や教育委員会とのパイプを強めると同時に教育経営の研究蓄積の有効性を実践的に検討する。

2. 現在までの活動経緯と今後の方向性

実践推進委員会においては現在までに①会員を対象とするアンケート調査教育経営に関するツール開発の現状を把握し、②①で踏まえた開発の現状を基盤に、雑誌『教職研修』紙面における連載と、オンラインを通したツールの現場への提供を開始し、③実践推進委員会委員の公募による増員を実施した上で、新たなツールの開発に向けた足がかりを模索してきた。

今後は、実践推進委員を中核に、今回の「実践研究フォーラム」を一つの契機に①教育経営に関係する各領域における「教育経営ツール」の開発グループを形成し、②開発に向けたアクションリサーチを実施し、③開発に成功した事例の一部を雑誌やオンラインも活用しつつ現場への活用に供し、④そのフィードバックを得てツールのさらなる活用・発展につなげた上で、⑤一連のプロセスについてリフレクションを加えることで上記のねらいにせまる。

3. 実践研究フォーラムの流れ

(1) 全体フォーラム 13:15～14:45 (司会：三浦)

- 1) 今期実践推進委員会の趣旨・計画の説明(武井)
- 2) 会員向けアンケートの結果の報告(兼安・小杉・本山)
- 3) グループセッションのねらいと方法(吉田)
- 4) 各グループのテーマについて(各提案者)
- 5) 質疑応答

(2) グループセッション 15:00～16:15

開発を試みようとする(ツールのシーズを大会要旨集に掲載)の各グループに分かれ、これをたたき台に、①学校や教育委員会のニーズと動機、②ツール開発の可能性、③ツールの効果や援用可能性、④ツール開発・活用に関する現場との連携構築、等の各観点から検討し、その後協働して、教育経営ツール開発の可能性を探る。

教育の「いま」をつかむために。時事通信出版局の本

教員をめざす人、学校管理職、 教職員、教育行政職員の必携書

現行学習指導要領が告示されて8年が経ち、あと数年のうちに次期学習指導要領の改訂が行われる。

この間、コロナ禍を経てGIGAスクール構想が加速度的に実現し、学校のあり方は大きく変わった。これまでの教育の制度やマネジメントの仕組みは何かどう変わったのか、あるいは変わらない部分は何か。

「学校のカリキュラム・マネジメント」「GIGAスクール構想の実現と教育DXの推進」など、時代の変化に合わせた新章を加え、詳しく解説する。

改訂新版

教育の制度と学校のマネジメント

編：加藤崇英 臼井智美

著：高野貴大 吉田武大 福島正行 照屋翔大

田中真秀 張 信愛 石崎ちひろ 川口有美子 吉田尚史

●A5版・212頁 定価：本体2,000円＋税 ISBN:978-4-7887-2016-9



改訂新版

教育の制度と 学校のマネジメント



編：加藤崇英 臼井智美
著：高野貴大 吉田武大 福島正行 照屋翔大
田中真秀 張 信愛 石崎ちひろ 川口有美子 吉田尚史

School Management
時事通信社



時事通信出版局

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル8F
tel.03-5565-2155 fax.03-5565-2168 <https://bookpub.jiji.com>

戦後教育史をひらく

米田俊彦・鳥居和代・齋藤慶子・大多和雅絵・
松島のり子ほか編著

A5判・上製・368ページ
定価4,000円＋税

日本教育史の新たな地平を子どもと生活、ジェンダー、教育改革、文化の視点から切りひらこうとする最新論文集！

北海道移住民と学校

教育をめぐる開拓政策と地域社会

坂本紀子著

A5判・上製・320ページ
定価5,800円＋税

北海道の教育史を移住民生活
の視点から捉えなおす――

占領下の学生自治会と 学生運動

田中智子著

A5判・上製・272ページ
定価4,500円＋税

戦後初期の学生自治会を歴史的
資料から明らかにする――



六花出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-28 TEL 03-3293-8787
FAX 03-3293-8788 <https://rikka-press.jp> info@rikka-press.jp

日常でよく使われる用語を収録し、
多くの用語を示した表記辞典の決定版

用字用語 新表記 辞典

新訂五版



天沼 寧・加藤彰彦・鈴木仁也【編】

B6判・864ページ 並製・ケース入り 定価2,420円(本体2,200円+税10%)

- 国語表記の日安となる内閣告示、通知・通達及び文部科学省資料等に基づいて編集した、現代日本語を書くための表記辞典の決定版です。
- 見出し語には、現代表記に必要な約2万6千語を収録し、それぞれに豊富な用例を掲げ、さらに参考表記、言い換え、公用文の表記等を示しました。特に公用文の表記については注釈等も充実、実務の必携書です。

令和5年4月1日施行の条文に
完全対応！

【逐条解説】 地方教育行政の 組織及び運営に 関する法律

第五次新訂



木田 宏【著】 教育行政研究会【編著】

A5判・760ページ 定価4,950円(本体4,500円+税10%)

- 我が国唯一の「地教行法」の逐条解説書！教育行政関係者必携の実務書。
- 「地教行法」条文解説の決定版！本書で「地教行法」の正確な解釈と運用がよくわかる。
- 第五次新訂では、平成29年改正、平成30年・令和元年改正、令和5年4月1日施行の教職員研修制度の改正や地方公務員法制の改正に対応！

商品の詳細、試し読み、お申込みはコチラ

第一法規

検索 CLICK!



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
https://www.daiichihoki.co.jp

ご注文はWEBからも承ります。

Tel. 0120-203-694

Fax. 0120-302-640

新しい学校を創る 教育経営

日本教育経営学会実践推進委員会ほか 編著
—学校の見方を変える。実践を記述する。—

これからの学校経営、教育実践の在り方を考え、挑戦を続けることの重要性を提案する。

◆178頁 3740円

学校教育行政に おける政策変容

行政学の観点から学校教育行政の政策実施過程を分析し、その特徴の解明を試みる。

◆292頁 5280円

女性教員・女性校長 が語るジェンダー平等

佐藤 智美 著
—「教育改革」の中の困難と連帯—
不平等な学校組織や慣習に対して、連帯し、変革をめざし闘ってきた主体としての姿を描き、学校現場の女性教員にエールを送る。

◆216頁 3300円

変容実感が描き出す 学習者の姿

梅原 聡 著
—ナラティブがひらくアクティブラーニングの再出発—
独自の新たな視座「変容実感」からアクティブラーニングを問い直し課題解決に挑む。

◆272頁 5500円

子どもの思考を深める ICT活用

柏木 智子・姫路市立豊富小中学校 編著
—公立義務教育学校のネクストステージ—
ICT活用による子どもの学びの変容過程を描き出す。

◆128頁 2420円

教育の思想と原理

酒井 健太郎 著
—古典といつしよに現代の問題を考える—
古典といつしよに現代の様々な問題を考える。

◆238頁 2970円

「探究学習」とはいう けれど

探究学習研究会ほか 編著
—学びの「今」に向き合う—
理論・データ・事例から「探究学習」の本質に迫る。

◆146頁 1980円

教師のウェルビーイングを 創出するメンタルヘルスケア

服部 紀代 著
教育現場の声に寄り添い、教師のメンタルヘルスケアを再考する。

◆234頁 4180円

不登校の子どもと

武井 哲郎・矢野 良晃・橋本 あかね 編著
—持続可能な居場所づくりのために—
民間フリースクールが子どもの最善の利益を守りながら運営を続けるためには？

◆156頁 2200円

〈教師の人生〉と向き合 うジェンダー教育実践

寺町 晋哉 著
ジェンダー平等な学校をつくるために

◆214頁 2750円

新・教師論

石村 卓也・伊藤 朋子 著
—チーム学校に求められる教師の役割と職務—
これから教師を目指す人すべての現役教員必携の書。

◆244頁 3080円

晃 洋 書 房

〒615-0026 京都市右京区西院北矢掛町7番地

TEL 075-312-0788
FAX 075-312-7447

※価格は税込



特別支援教育の基礎・基本 第4版

著：国立特別支援教育総合研究所

A4判/344頁/定価(本体2,700円+税)

ISBN978-4-86371-653-7

最新の基本理論、制度の変遷、障害のある子供の
実態把握、指導法等、知っておきたい知識をまと
めた特別支援教育のバイブルが5年ぶりの改訂。



教師の総合的力量形成

—学習指導と生徒指導の統合に向けて—

著：松本剛・隈元みちる

A5判/248頁 上製本/定価(本体2,600円+税)

ISBN978-4-86371-680-3

教師の力量形成について、アカデミックな知見と学
校現場における実践の両側面を考慮しつつ論じる。



事例から学ぶ

小・中学校特別支援教育サポートブック

編著：大山卓・高村葉子 著：木村豊・神原暢広・早野正・
松川博茂・山上裕司

B5判/174頁 オールカラー/定価(本体2,600円+税)

ISBN978-4-86371-716-9

特別支援学級の指導の基本と具体的な支援方法を
多様な障害種ごとに、「特別支援教育アドバイ
ザー」が事例をもとにわかりやすく解説。



学校全体で取り組む

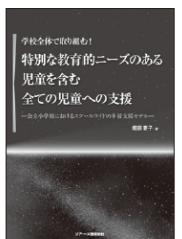
ポジティブ行動支援スタートガイド

著：若林上総・半田健・田中善大・庭山和貴・大対香奈子

B5判/224頁/定価(本体2,200円+税)

ISBN978-4-86371-665-0

スクールワイド PBS 実践に向けた組織づくり、シス
テムづくりのノウハウを具体的な事例を盛り込み順
序立てて解説。



学校全体で取り組む!

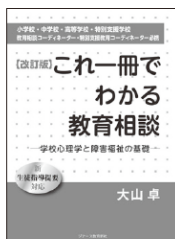
特別な教育的ニーズのある児童を含む全ての児童への支援
—公立小学校におけるスクールワイドの多層支援モデル—

著：堀部要子

B5判/220頁/定価(本体2,300円+税)

ISBN978-4-86371-702-2

教師の力量形成について、アカデミックな知見と学
校現場における実践の両側面を考慮しつつ論じる。



【改訂版】これ一冊でわかる教育相談

—学校心理学と障害福祉の基礎—

著：大山 卓

B5判/134頁/定価(本体2,200円+税)

ISBN978-4-86371-711-4

教育相談の必携書が不登校やいじめに関する法改
正、生徒指導提要の改訂など、最新の教育現場の
動向を踏まえた内容にアップデート。



ジアース
教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-23 宗保第2ビル

TEL：03-5282-7183 FAX：03-5282-7892 E-mail：info@kyoikushinsha.co.jp

URL：https://www.kyoikushinsha.co.jp/ 公式X：https://x.com/kyoikushinsha



月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、定価493円(448円+税)

2025年 特集

6月号 教育格差への対応

5月号 学校における防災・防災教育の現在とこれから

4月号 学習指導要領の改訂に向けた文科大臣「諮問」を
どう見るか—第1回—

3月号 問題を発見し解決していく力の育成

1・2月合併号 学校における働き方改革の現在

2024年 特集

12月号 第53回教育展望セミナー テーマ別報告

11月号 第53回教育展望セミナー 全体会報告

10月号 幼児教育と小学校教育の接続・連携を考える

9月号 子どもの抱える困難と生徒指導

7・8月合併号 GIGAスクール構想と学びの姿

6月号 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の現在

5月号 地域とともにある学校づくり

4月号 社会の多様性と学校教育

3月号 学び合いのある豊かな授業づくり

「教育展望」臨時増刊

セミナー研究討議資料

A5判、定価2619円(2381円+税)

No.56 (第53回教育展望セミナー)

2024年7月発行、104頁

変革の時代の学校教育を展望するIV

—学習指導要領に基づく教育課程の実施状況と次期改訂に向けての提言—

No.55 (第52回教育展望セミナー)

2023年7月発行、104頁

変革の時代の学校教育を展望するIII

—子どもが主体的に学びを深めるための学習指導の在り方—

一般財団法人

教育調査研究所

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館

TEL：03-3520-2970 FAX：03-5579-6574

E-Mail：chouken@estate.ocn.ne.jp

教育による包摂／排除に抗する児童福祉の理念

高田俊輔 著

非行少年を対象とする入所型の児童福祉施設であり、少年院と児童養護施設の折衷を担ってきた、児童自立支援施設の実践と変遷を探る。▼四六判上製・二二〇頁・四〇〇〇円

学校改革としてのイエナ・プラン

安藤和久 著

「自由で一般的な民衆学校」に向けた学校改革であるイエナ・プランと創始者ペーター・ペーター・ペーターゼンの自律的教育科学の構想を訪ねて

ゼンによる構想に立ち戻り、その理念と展開を追う。▼A5判上製・四一六頁・八三〇〇円

教授学への招待

エヴァルト・テアハルト 著
松田充 宮本勇一 熊井将太 訳

授業における教えと学びの関係をひもとく教授学理論は、学校や授業をとるよう捉え、どのような教師を育てようとしてきたかを問う。▼A5判上製・二四四頁・三九〇〇円

批判的思考と教育

ジョン・E・マクベック 著
渡部竜也 訳

ある主題／教科を教えることに伴う批判的思考がもたらす多様性を、その意味・論理学的・認識論的な問題・論証や評価といった視点で解く。▼四六判上製・二七〇頁・四〇〇〇円

師範学校と図画教育

増田金吾 著

赤津隆助を事例として

戦前期における図画教育指導法を確立した赤津の思想と実践についてその足跡をたどり、図画教育や教育のあるべき姿を追究する。▼A5判上製・四七四頁・八〇〇〇円

見ることを学ぶ

松枝拓生 著

見ることを学ぶという経験はなぜ重要か。多岐にわたるドゥルーズの思索から学習において振り返りや気づきを持つ意味を解き明かす。▼四六判上製・二三八頁・四〇〇〇円

当事者性の邂逅から共生へ

後藤聡美 著

多文化共生を目指す社会にある当事者という定義をさまざまな状況から論じ、学習やコミュニティのありようの展望を検討する。▼四六判上製・二二四頁・四五〇〇円

インクルーシブ教育のかたち

柴垣登著

特別支援教育や通常教育の包摂／排除や統合／分離という二分法的な議論にとどまらない、その実現可能な工夫のしどころをはかる。▼A5判並製・一七頁・三六〇〇円〔刷〕

春風社

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘 53 横浜市教育会館 3 階
電話：045-261-3168 / FAX：045-261-3169 info@shumpu.com

http://www.shumpu.com/
* 表示価格はすべて税別です

これからの学校経営と校長のリーダーシップを考える。



校長のリーダーシップ
日本教育経営学会 編著
●228頁 定価3300円

校長のリーダーシップ発揮の実態と課題を解明。「職」としての校長をとりまく制度的・組織的条件に焦点を当て、校長のリーダーシップ発揮の実態と課題を明らかにしたうえで、政策的・研究的示唆を提示。大規模な量的調査(全国の公立学校2400校を対象)と質的調査(初任期校長や校長会の関係者へのインタビュー調査等)の結果をもとに、総合的に考察する。



教員志望学生の不安や悩みをどう理解するか
一現代アメリカにおける支援実践から
太田知実 著
●208頁 定価3740円

教員養成では、どのように、教員志望学生の不安や悩みを和らげつつ、かつ、彼らが良い教員として育てることができるのか。人種問題に直面する現代アメリカの動向を手がかりに、この問いに向き合う。教員志望学生や若手教員を支える社会の在り方を問う一冊。

現代アメリカにみる「教師の効果」測定
一学力テスト活用による伸長度評価の生成と功罪
西野倫世 著
●272頁 定価4950円

現代アメリカ教員養成改革における社会正義と省察
一教員レジデンシープログラムの展開に学ぶ
高野貴大 著
●260頁 定価5280円

教師の条件 新版
一授業と学校をつくる力
小島弘道・北神正行・水本徳明・平井貴美代・安藤知子 著
●272頁 定価2860円

スクールティーチャー
一教職の社会学的考察
ダン・ローティ 著
佐藤学 監訳/橋田泰幸・黒田友紀・佐藤仁・榎景子・西野倫世 訳
●384頁 定価4400円

現代アメリカ学校再編政策と「地域再生」
一学校統廃合か、地域と教育の刷新か
榎景子 著
●284頁 定価5170円

講座 現代的教育経営〈全5巻〉 日本教育経営学会 編

教育経営学における諸研究について、日本教育経営学会の研究知見に基づき論じる。学校・家庭・地域における協働が求められる教育経営に携わる方必読。

- 1「現代教育改革と教育経営」 定価2970円
- 2「現代的教育課題と教育経営」 定価3190円
- 3「教育経営学の研究動向」 定価2640円
- 4「教育経営における研究と実践」 定価2750円
- 5「教育経営ハンドブック」 定価2200円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

実践の学としての教育経営学の探究 A5判 定価 3,000円+税 元兼 正浩 編

教育経営学の魅力と可能性を探る一冊。日本教育経営学会研究推進委員会(2018～2021)等での共同研究の議論から生まれた本書は、学校経営コンサルティングをめぐる理論と実践に関する論考を集約し、教育経営の実践的アプローチとして新しい道を提示する。

エッセンスシリーズ The Essentials Series

教職課程におけるテキストとして幅広くご活用頂いております。

好評
発売中

教育制度エッセンス

— 多様性の中で制度原理を考えるために —

B5判 298頁 定価 2,200円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学教育法制+社会教育研究室
韓国公州大学校 師範大学教育学科

教育課程エッセンス

— 新学習指導要領を読み解くために —

B5判 196頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学大学院教育法制研究室

最新版 教育法規エッセンス

— 教職を志す人のために —

B5判 128頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学大学院教育法制研究室

総合版 特別活動エッセンス

— 望ましい人間関係づくりのために —

B5判 152頁 定価 2,000円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学大学院教育法制研究室

子ども論エッセンス

— 教育の原点を求めて — ～すべての子どもに権利・人権を保障するとは～

B5判 126頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学大学院教育法制研究室+哲史研究室

教職論エッセンス

— 成長し続けるキャリアデザインのために —

B5判 204頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)

編者/九州大学大学院教育法制研究室

次世代スクールリーダーのための ケースメソッド入門

A5判 220頁 定価 2,000円+税

日本教育経営学会実践推進委員会 編

学校組織が日常的に直面する21事例(「校長の専門職基準」準拠)を用いて、スクールリーダーとしての意思決定を疑似体験し、経営判断能力を育成できるケース事例集で、回答例の他に、日本教育経営学会実践推進委員らによるコメントで、決断のための視野を広げます。キーワード解説やコラムも掲載し、自己啓発書としても活用できます。

次世代スクールリーダーのための 「校長の専門職基準」

A5判 248頁 定価 2,000円+税

日本教育経営学会実践推進委員会 編

校長職が専門職であるためには、求められる専門的力量的内容を明確にし、資格・養成・研修等の制度を確立する必要がある。([2009年版]ははじめに)

第Ⅰ期～第Ⅲ期実践推進委員会の手による日本教育経営学会「校長の専門職基準」の解体新書。

専門職としての校長の力量形成 A5判 292頁 定価 3,500円+税 牛渡 淳・元兼 正浩 編

日本教育経営学会が2009年に作成した「校長の専門職基準」を踏まえて、新たなスクールリーダー教育の可能性を理論的・実証的に探る。第Ⅰ部「専門職としての校長職の検討」、第Ⅱ部「スクールリーダーとしての力量開発」、第Ⅲ部「校長の力量形成環境の整備」の3部構成。

花書院
図書出版

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2丁目9番2号
TEL.092-526-0287 FAX.092-524-4411

<http://www.hanashoin.com/>

日本教育経営学会第 65 回大会プログラム

発行日：2025 年 4 月 16 日

編集：日本教育経営学会第 65 回大会準備委員会

〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1 番地 1 号

茨城大学教育学部 高野貴大研究室気付

委員長：加藤崇英（茨城大学）

委 員：高野貴大（茨城大学）

石崎ちひろ（常磐短期大学）

櫻井良種（茨城県立竹園高等学校）

奥田修史（盛岡大学）

木下豪 （富山大学）